

生徒の学習状況についての実態および定期考査等を含む 学力調査の結果等を踏まえた内容別・観点別の分析表

【数学】

〈学習状況についての実態〉

- ・ 数学に対する関心・意欲については、比較的高く評価できる傾向がある。しかし、発言や表現できる生徒とそうでない生徒との個人差がある現状は変わらない。
- ・ 数学的な技能に関しては、計算の方法やポイントを理解している生徒が多くみられる。
- ・ 数学的な見方や考え方にあたる文章題や図形の論証では、解き方や定理の使い方を中心に十分な時間を確保し指導に当たっている。

〈今後の課題〉

- ・ 数学的な表現力を身に付け、知識・理解についての理解力を生かし自分の考えを筋道立ててまとめ、それを発表できる力を付けさせる。
- ・ 問題文を正確に読み取り、必要な情報を収集し複数の単元で学んだ知識を応用できるように図に表したり数式化を図ったりするようにする。
- ・ 課題解決的な内容を授業の中に取り入れて数学的な見方・考え方の能力を伸ばす。
- ・ 学力向上支援講師による生徒への指導や支援を有効に活用できるように指導者側で授業の進め方を工夫する。